



食品残渣からメタンを生成させ、電気や熱へ有効活用！

食品残渣のメタン発酵による再資源化

技術分野分類 6003：触媒・資源化学プロセス

技術キーワード (6)資源・エネルギー有効利用技術

産業分類 E-09：食料品製造業

内 容	概要	メタン発酵により、水分量が多い食品残渣などの廃棄物から、主にメタンからなるバイオガスを生成させ、発電や熱源に有効活用することで、循環型社会の形成や化石燃料の使用量削減が期待できる。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	メタン発酵は、食品残渣などの廃棄物を大量に処理すると同時に、発生するメタンをエネルギー源として再資源化できる利点を有している。 【実績】食品残渣を使用することで生成したバイオガスの分析評価(図1)や、メタン発酵前後における消化液の COD _{Cr} 分析による発生メタン量の推定(図2)などに関する検討を実施した。
	本技術の有用性	廃棄物からエネルギー源を回収でき、廃棄にかかるコスト削減や発電による収益などが期待できる。
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>COD_{Cr}減少量×0.35 ▼ メタン生成量(L)の推定が可能！</p>
適用可能製品		食品残渣などを使用したメタン発酵によるバイオガス発電
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	松浦 真也 三重県工業研究所 ものづくり研究課 研究員
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	三重県工業研究所 プロジェクト研究課 059-234-0407 / 059-234-3982 kougi@pref.mie.lg.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2023年1月12日